

京都府知事と京都府商工会議所連合会との懇談会

日時 令和5年11月8日

場所 ホテルグランヴィア京都

【宮津商工会議所からの要望事項】

1 天橋立の世界遺産登録について (重点要望項目)

京都府におかれましては、天橋立の世界遺産登録を目指した取組を積極的に進めていただいております。深く感謝申し上げます。

地元の宮津市、与謝野町、伊根町の民間団体で組織する「天橋立を世界遺産にする会」を中心として、地元の機運醸成に係る取り組みを継続して実施しております。

特に、令和4年度におきましては、「天橋立名勝100年・特別名勝70年」をスローガンに、記念シンポジウム、天橋立内でのモノオペラの開催、世界遺産モン・サン・ミシェルとの国際カンファレンスなど様々な記念事業を実施いたしました。

活動の成果もあり、近年では、天橋立の歴史や価値等において、新聞やテレビなどメディアで大きく取り上げられ、本年では8月26日付の日本経済新聞の特集記事「残したい日本の原風景10選」で天橋立が第1位に選ばれております。

こうした中、国の文化審議会において新たな暫定リストの追加登録のあり方等について議論がされております。また、3月には文化庁の京都移転が行われたところであり、このタイミングを逃さないよう、早期の「国内暫定リスト」入りを目指し、「天橋立世界遺産登録推進会議」の活動をはじめ、京都府の強力なご支援をお願いします。

2 京都丹後鉄道の運行継続(令和7年度以降)について

京都丹後鉄道は、通勤や通学などの日常の移動手段として、地域住民の暮らしを支えるとともに、産業や観光など地域振興に大きく寄与する必要不可欠な鉄道であり、京都府や沿線市町のご支援により運行していただいていることに深く感謝申し上げます。

本鉄道は、平成27年度から施設保有会社の北近畿タンゴ鉄道(株)と運行会社であるウィラートレインズ(株)が上下分離方式により令和6年度末まで運行することとされています。

本鉄道は、地域住民や事業者にとって必要不可欠な鉄道であり、令和7年度以降も引き続きウィラートレインズ(株)に運行を担っていただき継続できるよう、京都府におかれましては、引き続きご支援をいただきますとともに、国に対し支援措置の拡充・継続の働きかけをお願いします。

3 宮津港、阿蘇海を活かした観光振興について

京都府におかれましては、本年3月に地元関係者や港湾管理者による「宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会」を立ち上げられ、宮津港の振興方策等の具体化に向けて取り組んでいただいていることに深く感謝申し上げます。

宮津商工会議所におきましては、来る大阪・関西万博も見据え、宮津港、阿蘇海を活かした賑わいづくりとして、海上交通ネットワークの構築による新たな周遊観光や宮津湾（沖止め）へのクルーズ客船寄港誘致による観光振興が大変重要であると考えております。

つきましては、みなとオアシスによる賑わい創出を図るため、現在の「みなとオアシスたいみやづ」エリアを宮津湾全体、阿蘇海を含む拡充に向けた支援をいただくとともに、リニューアルされる丹後郷土資料館をはじめ、周遊観光の拠点となる海上タクシーの乗下船場所（桟橋等）及びクルーズ客船受入時の乗下船場所（桟橋等）について整備をお願いします。